

ヒトツメアオゴミムシ *Callistoides deliciolus* (Bates)

【選定理由】

全国的にも個体数の少ない種であり、1970年代までは尾張地方の丘陵地で採集されていたが、1980年代に入ってからほとんど見られなくなった。

【形態】

体長10～12mmの中型のゴミムシ。頭部は黒色で緑色の金属光沢を帯び、前胸は橙黄色、上翅周縁部は橙黄色に縁取られ、会合部後半に同色の斑紋を持つ美しいゴミムシである。

【分布の概要】

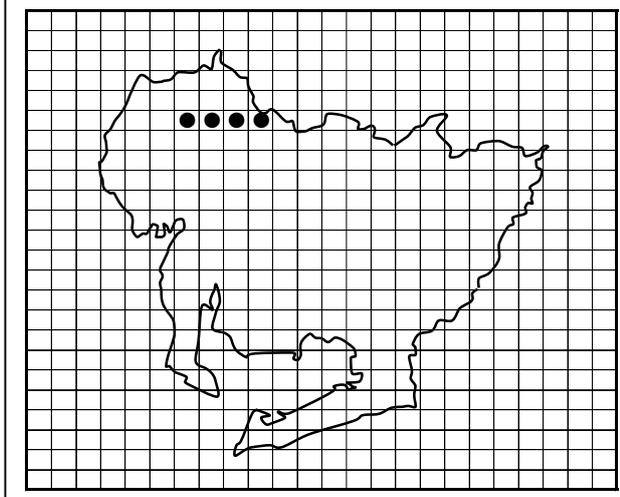
【県内の分布】

瀬戸市定光寺(岩崎・蟹江, 1990)、春日井市各地(岩崎・蟹江, 1990)、小牧市小牧山(岩崎・蟹江, 1990)などに記録があり、尾張丘陵地帯には局地的ながらも広く分布していたものと思われる。

【国内の分布】

本州、四国、九州。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

本種は丘陵地～低山帯の森林内の開けた林床、裸地に生息する。夜間活発に活動し、小動物などを捕食する。生息地は水辺から離れた林床であるが、十分な湿度を保っている環境を好む。

【現在の生息状況／減少の要因】

定光寺以外の記録はいずれも1950年代以前のもので個体数も多くはない。定光寺の生息地も1970年代後半に周囲の森林が伐採され、生息地の乾燥化にともない姿を消し、1980年代以降の記録はない。

【保全上の留意点】

本種だけでなく地表性のゴミムシ類の減少は近年著しく、生息地の破壊のみならず、餌となる微小動物などを含む生息地全体の生態系の保全に留意が必要と思われる。

【引用文献】

佐藤正孝ほか, 1990. 愛知県の甲虫. 愛知県の昆虫, (上): 200-477. 愛知県.
岩崎 博・蟹江 昇, 1990. 愛知県のオサムシ類. 愛知県の昆虫, (上): 309-338. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)